

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 82  
2023.2

TOPICS

1

## 岡山大学共育共創コモンズ完成披露式典を開催



1月26日、岡山大学共育共創コモンズの完成を記念して、完成披露式典を開催しました。式典に先立ち、建築の監修をした隈研吾岡山大学特別招聘教授(建築家)、多大なるご寄付をいただいた中島博ナカシマホールディングス株式会社社長、小長啓一岡山大学Alumni(全学同窓会)会長及び槇野博史学長、阿部匡伸理事、菅誠治工学部長によるテープカットが行われました。式典には、行政、企業関係者、同窓会及び本学の教職員・学生ら合わせて約200人が参加。公募により決定された共育共創コモンズの愛称が発表され、本学教員の田邊光伸さんが発案した「OUX(オクス)」が披露されました。

本学では、共育共創コモンズ建設のコンセプトである「地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場」として、また岡山の新しいシンボルとして、学生が学ぶとともに地域や企業の皆様との協働を一層充実させながら、岡山から世界に新たな価値を創造していきます。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11841.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11841.html)

TOPICS

2

## 国連貿易開発会議(UNCTAD) テクノロジー・ロジスティクス局長が来学

1月31日、国連貿易開発会議(UNCTAD)テクノロジー・ロジスティクス局長であるシャミカ・シリマン氏が来学しました。本学と国連貿易開発会議は、2020年1月に大学としては世界初となるMoU(包括連携協定)を締結。この協定に基づき「途上国からの若手女性研究者のための共同研究・研修コース(短期)」と「途上国からの若手研究者のための博士課程学位プログラム(長期)」の2つの人材育成プログラムを実施しています。

シリマン局長は、「技術革新の波を捉える-公平性のあるイノベーション」と題して、学生・教職員、地域の方や高校生ら約100人の参加者に対して特別講演を行いました。また、短期プログラムの研究成果発表会が行われ、今年度、同プログラムに参加している13人が研究成果を発表しました。局長は「本プログラムでは既に多くの若手女性研究者が貴重な研究経験を積み、新しい知識やスキル、人的ネットワークを母国へ持ち帰っている。皆さんが将来、科学技術分野で活躍されることを願っています」と激励しました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11853.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11853.html)

Pick up!

## 弓道部の中塚祥一郎顧問が 令和4年度武道功労章を受章!



昭和36年度の法文学部卒業生であり、弓道部OBの中塚祥一郎顧問(弓道範士八段)が令和4年度武道功労章を受章しました。この表彰は、全国的または地域・職域において武道の振興に寄与し、特に顕著な成果をあげた個人の功績を称え永久に顕彰するもので、武道会で最も栄誉あるものです。

表彰式は毎年成人の日に、日本武道館で開催される「鏡開き式・武道始め」の席上で行われ、今年は1月9日に行われました。中塚顧問は「突然の受賞の知らせはまさに青天の霹靂で我が耳を疑いました。武道を志し、携わる者にとっては最高の名誉であり、身に余る光栄と感謝に堪えません」と喜びを表しました。弓道部顧問の中村隆夫教授は「中塚先生の武道功労章受章は、弓道部関係者にとりまして、名誉であり喜ばしい限りです。今後も御健康で御指導いただければ幸いです」とコメントしました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11850.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11850.html)

TOPICS

3

## 2022年度岡山大学SDGs推進表彰 (President Award) 表彰式&取り組み発表会を開催

2月2日、岡山大学SDGs推進表彰 (President Award) の表彰式および取り組み発表会を実施しました。今年度は「教育」「研究」「その他職場貢献等」「学生グループ」の4分野で取り組みを募集し、優秀賞4件、奨励賞8件の計12件を表彰し、それぞれの取り組みについて発表が行われました。

優秀賞には、OYW Hive企画運営委員会による「One Young Worldサミットの世界同時中継サテライトイベント誘致開催を活用した地域一体型の国際ユース・エンゲージメント協働事業」、水川展吉講師、飯田征二教授、木股敬裕教授らによる「ミャンマーにおける口腔がん検診」、安全衛生部、安全衛生推進機構による「SDGs×防災—地域との協働型防災訓練—」、松井研究室、DS部、環境部 ECOLO、SDGsアンバサダーらによる「岡山食品ロス削減プロジェクト『のこり福キャンペーン』」が選ばれました。

今後も本学はこのような学内のSDGs活動を積極的に発信・共有し、SDGs活動促進へ貢献して参ります。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11872.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11872.html)



TOPICS

4

## 岡山市の教育課題解決へ向け、大学院教育学研究科と市教委が連携・協働を強化へ 合同記者会見を実施



大学院教育学研究科は2月15日、岡山市教育委員会との連携・協働体制の強化について、本学教育学部において合同記者会見を行いました。記者会見には同研究科から高瀬淳研究科長、西山修副研究科長、熊谷慎之輔副研究科長、市教育委員会からは三宅泰司教育長、奥橋健介教育次長らが出席しました。

高瀬研究科長は「岡山市教育委員会と岡山大学の強みを活かした協働研究プロジェクトを推進し、多様で複雑な教育課題の解決に向けて総合的にアプローチしていく」と連携強化の方向性を述べました。

三宅教育長は「新規の不登校を抑制することが岡山市の重要な教育課題の一つであり、『考えよう不登校』をテーマとした協働研究プロジェクトを立ち上げる」とプロジェクトの具体的な内容を説明。協働研究プロジェクトを通して連携・協働体制を強化していくことが確認されました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11904.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11904.html)

PRESS  
RELEASE

## 二孔チャンネルはオキシトシン放出を促すことにより社会行動を制御していることを解明

大学院自然科学研究科博士前期課程大学院生(当時)の川上奈津子、同学術研究院自然科学学域の坂本浩隆准教授と、英国オックスフォード大学、仏国パリ＝サクレー大学等の国際研究グループは、イオンチャンネルの一種である二孔チャンネルが、オキシトシン放出を促すことによりマウスの社会行動を制御していることを明らかにしました。

二孔チャンネルは動物や植物の細胞の細胞内小器官の膜系に広く発現しており、電位開口型イオンチャンネルスーパーファミリーの進化上重要な膜タンパク質として知られています。二孔チャンネル遺伝子欠損マウスでは、オキシトシンの放出活性の著しい低下と、母性行動の減弱が観察されていましたが、その原因は不明でした。本研究では、二孔チャンネルがオキシトシンニューロンにおいて細胞内のCa<sup>2+</sup>濃度を調節することにより、オキシトシンの開口分泌、特にプライミングを誘導しているという分子メカニズムを明らかにしました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id1047.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1047.html)

